



上末っ子

令和5年1月10日

1月号

横浜市立上末吉小学校

～ 学び合い みとめ合い 一人ひとりが輝く上末っ子 ～

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamisueyoshi/>



学校ホームページ用QRコードです。
学校の様子をご覧いただけます。

子どもの成長を支える環境

校長 内田 宏平



「一年の計は元旦にあり」ということわざがあります。「清新な気持ちで迎える一月一日にこそ、一年の計画を立てるべき・・・何事も最初が肝心」という意味です。継続的に努力を重ねることは成長につながります。計画を立てることによって目標が明確になり、その目標に向かって努力を重ねる・・・新年を迎えたからこそ、自分自身の努力の価値についてポジティブに考えられる時間をもってほしいと願います。

最近、「タイパ (タイムパフォーマンス)」という言葉を目にすることが増えました。費やした時間に対する成果や満足度の度合いを表す言葉です。限られた時間の中で膨大な情報を適切に扱うことを強く意識している若い世代の中で広まっている考え方だといわれています。時間を有効に使うという点では、なるほどと感じるところも多々あります。私は食器洗いに時間がかかります。家族から言わせると「丁寧だけど細かい」そうです。食洗器もあるのですが、何となく信用できなくて使っていませんでした。ある休日、早く走りに行きたくて食洗器のスイッチを入れてみました。なんと！帰宅後には食器がピカピカで乾燥までされているではないですか！私の家事にタイパの視点が導入された瞬間です。

ただ、タイパの弊害についてもいろいろな声があがっています。早く結果を知ることで自身に必要なことなのかどうか判断する・・・という意識が強くなるあまり、じっくり取り組んだり思案したりすることを無駄に感じるというのです。映画や読書に時間をかけることを敬遠する人が増えているのもその一例です。

そのような時代ですから、継続的に努力を重ねることの価値が見失われてしまうのではないかと危惧しています。子どもたちの成長にとって重要なのは「過程」だと考えます。周囲が結果ばかりを評価していると、結果だけを気にする子になってしまい、できないときに心が折れやすくなったり、やっているふりをしたりするようになってしまいます。結果よりも取り組む姿勢や過程を認めると、「難しそうだけど続けてがんばろう」という気持ちになるものです。「過程」を重視することで、努力の価値を再認識させていきたいです。

児童心理学者の平井信義氏によると、人格を形成する上で最も大切なのは「情緒の安定と情操の発達」だそうです。「情緒の安定と情操の発達」をベースに「自発性と意欲の発達」「適応能力と社会性の発達」「知識の習得と知的能力の発達」が積み重なっていくとのこと。情緒の安定は、子どもを取り巻く環境によってもたらされます。つまり、子どもが様々な力を身に付けていくために重要なのは、環境だといえます。子どもが安心できる環境を整えるために、大人も気持ちの余裕をもっていきたいものです。

周囲の大人が受容的で安定的な状態にいると子どもは安心します。そのような状態にいるために、我々も、自分自身の小さながんばりを認めていきましょう。ちょっと早起きできたとき、疲れているのに食事の準備をしたとき、子どもに寄り添って話を聞けたとき、自分に花丸をつけていきましょう。“大人”も子どもにとって配慮すべき環境の一つだと心得て、大人としての自分自身を大切に過ごせる一年にしていきましょう。その積み重ねが、「ここまでしかできなかったね」ではなく、「ここまでできたね」と子どものやる気を支えられる環境を実現させるための近道になるはず。です。

うさぎは鳴かない動物です（敵から身を守るために声帯が発達しなかったそうです）が、卯年として迎える2023年、子どもたちが安心して努力できる環境をつくるために、保護者や地域の皆様としっかり声をかけ合いながら進んで参る所存です。本年もよろしくお願いたします。